ＤＩ月報　No．200

2004.3.2　山口大学病院　DIｾﾝﾀｰ
（TEL　22-2668）

医薬品・医療用具等安全性情報　No.197

★卵胞ホルモン製剤の長期投与と安全性について

平成15年10月までに公表されたWHI（Women's Health Initiative）の試験成績及び平成15年8月に公表されたMillion women studyの試験結果について検討した結果、卵胞ﾎﾙﾓﾝ製剤のうち長期に使用される可能性のある更年期障害または骨粗鬆症の効能を有する製剤について、使用上の注意が改訂された。

◎結合型ｴｽﾄﾛｹﾞﾝ（ﾌﾟﾚﾏﾘﾝ®）
◎ｴｽﾄﾗｼﾞｵｰﾙ製剤（ﾌﾟﾛｷﾞﾉﾝ®・ﾃﾞﾎﾟｰ、ﾌｪﾐｴｽﾄ®）

【禁忌】動脈性の血栓塞栓疾患又はその既往歴のある患者

【慎重投与】子宮内膜症、全身性ｴﾘﾃﾏﾄｰﾃﾞｽ
強い乳癌家族素因、乳房結節、乳腺症、乳房ﾚﾝﾄｹﾞﾝ像異常（ﾌｪﾐｴｽﾄ®除く）
術前又は長期臥床状態（ﾌﾟﾚﾏﾘﾝ®除く）

【重要な基本的注意】

投与前に病歴、家族素因等の問診、乳房検診並びに婦人科検診を行い、投与開始後は定期的に乳房検診並びに婦人科検診を行うこと。

卵胞ﾎﾙﾓﾝ剤と黄体ﾎﾙﾓﾝ剤を長期併用した女性では、乳癌になる危険性が対照群と比較して高くなり、その危険性は併用期間が長期になるに従って高くなるとの報告あり（外国）。本剤の投与にあたっては、患者に対し本剤のﾘｽｸとﾍﾞﾈﾌｨｯﾄについて十分な説明を行うとともに必要最小限の使用にとどめ、漫然と長期投与を行わないこと。

【その他の注意】

＜ﾎﾙﾓﾝ補充療法（HRT）と乳癌の危険性＞　閉経後女性を対象とした無作為化臨床試験の結果、結合型ｴｽﾄﾛｹﾞﾝ・黄体ﾎﾙﾓﾝの配合剤投与群では、乳癌になる危険性がﾌﾟﾗｾﾎﾞ群に比較して有意に高くなる（ﾊｻﾞｰﾄﾞ比:1.24）との報告あり（米国）。また、疫学調査の結果においても、乳癌になる危険性が有意に高くなり（2倍）、この危険性は併用期間が長期になるに従って高くなる（1年未満:1.45倍、1～4年:1.74倍、5～9年:2.17倍、10年以上:2.31倍）との報告あり（英国）。

＜HRTと冠動脈性心疾患の危険性＞　閉経後女性を対象とした無作為化臨床試験の結果、結合型ｴｽﾄﾛｹﾞﾝ・黄体ﾎﾙﾓﾝ配合剤投与群では、冠動脈性心疾患の危険性がﾌﾟﾗｾﾎﾞ群に比較して高い傾向にあり、特に服用開始1年後では有意に高くなる（ﾊｻﾞｰﾄﾞ比:1.81）との報告あり（米国）。

＜HRTと脳卒中の危険性＞　閉経後女性を対象とした無作為化臨床試験の結果、結合型ｴｽﾄﾛｹﾞﾝ・黄体ﾎﾙﾓﾝ配合剤投与群では、脳卒中（主に脳梗塞）の危険性がﾌﾟﾗｾﾎﾞ群に比較して有意に高くなる（ﾊｻﾞｰﾄﾞ比:1.31）との報告あり（米国）。

＜HRTと痴呆の危険性＞　65歳以上の閉経後女性を対象とした無作為化臨床試験の結果、結合型ｴｽﾄﾛｹﾞﾝ・黄体ﾎﾙﾓﾝ配合剤投与群では、ｱﾙﾂﾊｲﾏｰを含む痴呆の危険性がﾌﾟﾗｾﾎﾞ群に比較して有意に高くなる（ﾊｻﾞｰﾄﾞ比:2.05）との報告あり（米国）。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち重要な副作用等について、改訂（追加）内容を紹介する。

◎塩酸テルビナフィン（経口剤）（商品名：ラミシール®錠）

【警告】本剤を使用する場合には、投与前に肝機能検査及び血液検査を行い、本剤の投与中は随伴症状に注意し、定期的に肝機能検査及び血液検査を行うなど観察を十分に行うこと。

【重大な基本的注意】重篤な肝障害は主に投与開始後２カ月以内にあらわれるので、投与開始後２カ月間は月１回の肝機能検査を行うなど観察を十分に行うこと。

【重大な副作用】重篤な肝障害：投与開始後２カ月間は月１回の肝機能検査を行うこと。又、その後も定期的に肝機能検査を行うなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
横紋筋融解症：観察を十分に行い筋肉痛、脱力感、CK（CPK）上昇、血中及び尿中ﾐｵｸﾞﾛﾋﾞﾝ上昇が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

医薬品・医療用具等安全性情報は医薬品情報提供ホームページ（http://www.pharmasys.gr.jp）又は厚生労働省ホームページ（http://www.mhlw.go.jp）から入手可能。

メルカゾール　安全性情報について

★メルカゾール®錠（5mg）　（一般名：チアマゾール）　〈抗甲状腺剤〉

2001年10月～2004年1月に「無顆粒球症」、「白血球減少」等の副作用を発現した症例の報告が76例あり、その内、５例の死亡が報告されている。使用時は、下記の点に十分注意すること。

１．少なくとも投与開始後２カ月間（再投与を含む）は、原則として２週に１回血液検査を行い、白血球分画を確認。その後も定期的に血液検査を行うこと。

２．「発熱」、「喉の痛み」等の症状がみられた場合には、速やかに主治医に連絡するよう患者さんに説明すること。

効能・効果　追加・変更のお知らせ

★ティーエスワン®cap（20mg、25mg）　（一般名：ﾃｶﾞﾌｰﾙ・ｷﾞﾒﾗｼﾙ・ｵﾃﾗｼﾙｶﾘｳﾑ配合ｶﾌﾟｾﾙ剤）〈抗悪性腫瘍剤〉

【効能・効果】（追加）結腸・直腸癌
【用法・用量】胃癌・頭頸部癌と同一

★ビラセプト®錠（125mg）　（一般名：メシル酸ネルフィナビル）　〈HIVﾌﾟﾛﾃｱｰｾﾞ阻害剤〉

【効能・効果】（変更）HIV感染症
※抗HIV療法の開始基準は変化してきているため、「CD4ﾘﾝﾊﾟ球数が500/mm³以下」の制限が削除された。
【用法・用量】1回1,250mgを1日2回、または1回750mgを1日3回食後に経口投与。
なお、投与に際しては必ず他の抗HIV薬と併用すること。

用法・用量 改訂のお知らせ

★イトリゾール®cap（50mg）　（一般名：イトラコナゾール）　〈経口抗真菌剤〉

爪白癬〔パルス療法〕
1回200mgを1日2回、食直後に1週間経口投与し、その後3週間休薬。
これを1ｻｲｸﾙとし、3ｻｲｸﾙ繰り返す。

使用上の注意　改訂のお知らせ

＜用法・用量に関連する使用上の注意＞

★注射用エラスポール®（100mg/V）　（一般名：ｼﾍﾞﾚｽﾀｯﾄﾅﾄﾘｳﾑ水和物）　〈好中球ｴﾗｽﾀｰｾﾞ阻害剤〉

輸液で希釈することによりpHが6.0以下となる場合は沈殿が生じることがあるので注意すること。

★タキソール®注（30mg/V、100mg/V）　（一般名：パクリタキセル）　〈抗悪性腫瘍剤〉

本剤の希釈液は、過飽和状態にあるためﾊﾟｸﾘﾀｷｾﾙが結晶として析出する可能性があるので、本剤投与時には0.22ﾐｸﾛﾝ以下のﾒﾝﾌﾞﾗﾝﾌｨﾙﾀｰを用いたｲﾝﾗｲﾝﾌｨﾙﾀｰを通して投与すること。

エンドキサン　組成、調製法、貯法変更のお知らせ

★注射用エンドキサン®（100mg/V、500mg/V）　（一般名：シクロホスファミド）　〈抗悪性腫瘍剤〉

組成：原料から塩化ﾅﾄﾘｳﾑを除いた
調製法：溶解液が注射用水から**生理食塩液**に変更（ｼｸﾛﾎｽﾌｧﾐﾄﾞ100mgを**生理食塩液**5mLで溶解）
貯法：冷所保存15℃以下から2～8℃に変更
※3月1日から変更となります。

☆Drug Safety Update No.126 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度　★：最重要　※：重要　無印：その他

成分名（薬品名）	主な改訂内容
※ｴﾀﾞﾗﾎﾞﾝ（ﾗｼﾞｶｯﾄ注）	慎重投与：腎機能障害、脱水〔急性腎不全や腎機能障害の悪化を来すことあり。特に投与前の BUN/ｸﾚｱﾁﾆﾝ比が高い患者では致命的な経過をたどる例が多く報告されている。〕 感染症〔全身状態の悪化により急性腎不全や腎機能障害の悪化を来すことあり。〕 高度な意識障害（Japan Coma Scale 100 以上）〔致命的な経過をたどる例が多く報告されている。〕 重要な基本的注意： ・急性腎不全又は腎機能障害の増悪、肝炎、播種性血管内凝固症候群（DIC）があらわれ、致命的な経過をたどることあり。これらの症例では、腎機能障害、肝機能障害、血液障害等を同時に発現する重篤な症例が報告されている。 １）検査値の急激な悪化は、投与開始初期に発現することが多いので、投与前又は投与開始後速やかに BUN、ｸﾚｱﾁﾆﾝ、AST（GOT）、ALT（GPT）、LDH、CK（CPK）、赤血球、血小板等の腎機能検査、肝機能検査及び血液検査を実施すること。本剤投与中も、それらの検査を頻回に実施し、異常や乏尿等の症状が認められた場合には、ただちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。 ２）投与前に BUN/ｸﾚｱﾁﾆﾝ比が高いなど脱水状態が認められた患者では、致命的な経過をたどる例が多く報告されているので、投与に際し全身管理を徹底すること。 ３）投与中に感染症等の合併症を発症し、抗生物質を併用した場合には、投与継続の可否を慎重に検討し、投与を継続する場合は特に頻回に検査を実施すること。また、投与終了後も頻回の検査を実施して観察を十分に行うこと。 ４）投与中に腎機能障害が発現した場合はただちに投与を中止し、腎機能不全の治療に十分な知識と経験を有する医師との連携のもとで適切な処置を行うこと。 ５）感染症を合併した患者、高度な意識障害（Japan Coma Scale 100 以上）のある患者においては、致命的な経過をたどる例が多く報告されているので、投与に際してはﾘｽｸとﾍﾞﾈﾌｨｯﾄを十分考慮すること。 ・本剤の投与は、本剤に関する十分な知識及び脳梗塞の治療経験を持つ医師との連携のもとで行うこと。 ・投与に際しては、患者又はそれに代わり得る適切な者に対して、本剤の副作用等について十分な説明を行うこと。 重大な副作用：ﾈﾌﾛｰｾﾞ症候群、肝炎、顆粒球減少〔頻回に血液検査を実施すること〕、急性肺障害〔症状があらわれた場合には、投与を中止し、副腎皮質ﾎﾙﾓﾝ剤投与等の適切な処置を行うこと〕、横紋筋融解症
※塩酸ﾗﾝｼﾞｵﾛｰﾙ（ｵﾉｱｸﾄ）	重大な副作用：心停止、完全房室ﾌﾞﾛｯｸ
※ｺﾚｽﾁﾐﾄﾞ（ｺﾚﾊﾞｲﾝ錠・顆粒）	禁忌：腸閉塞 慎重投与：便秘、腸管狭窄、腸管憩室 重要な基本的注意：腸管穿孔、腸閉塞に至った症例が報告されているので、投与中は腹痛、嘔吐等の症状に注意。 重大な副作用：腸管穿孔、腸閉塞
※ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝｽﾙﾎﾝ酸ｶﾙｼｳﾑ（ｱｰｶﾞﾒｲﾄｾﾞﾘｰ、ｶﾘﾒｰﾄ）	禁忌：腸閉塞 慎重投与：便秘を起こしやすい患者、腸管狭窄、消化管潰瘍 重要な基本的注意：・腸管穿孔、腸閉塞があらわれることがあるので、高度の便秘、持続する腹痛、嘔吐等の異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。 ・患者に排便状況を確認させ、便秘に引き続き腹痛、腹部膨満感、嘔吐等の症状があらわれた場合には、医師等に相談するように患者を指導すること。 重大な副作用：腸管穿孔、腸閉塞〔高度の便秘、持続する腹痛、嘔吐等の異常が認められた場合には投与を中止し、聴診、触診、画像診断等を実施し、適切な処置を行うこと。〕

※以外	適用上の注意：＜経口投与時＞消化管への蓄積を避けるため、便秘を起こさせないように注意すること。 ＜注腸投与時（ｶﾘﾒｰﾄのみ）＞本剤投与後は、腸管への残留を避けるため、必ず本剤を排泄させること。特に自然排泄が困難な患者においては、適切な方法を用いて本剤を腸管から取り除くこと。
※酢酸ｸﾛﾙﾏｼﾞﾉﾝ（ﾌﾟﾛｽﾀｰﾙ錠）	重要な基本的注意：劇症肝炎等の重篤な肝機能障害による死亡例が報告されているので、投与開始後３カ月までは少なくとも１カ月に１回、それ以降も定期的に肝機能検査を行うこと。 重大な副作用：本剤投与１～２カ月後に劇症肝炎があらわれ、死亡に至った症例の報告あり。投与開始後３カ月間は少なくとも１カ月に１回、それ以降も定期的に肝機能検査を行い、悪心・嘔吐、食欲不振、全身倦怠感等の異常が認められた場合には直ちに投与を中止し適切な処置を行うこと。
※ﾊﾟｸﾘﾀｷｾﾙ（ﾀｷｿｰﾙ注）	重大な副作用：急性呼吸窮迫症候群、播種性血管内凝固症候群（DIC）
※以外	用法･用量に関連する使用上の注意：本剤の希釈液は、過飽和状態にあるためﾊﾟｸﾘﾀｷｾﾙが結晶として析出する可能性があるので、本剤投与時には 0.22 ﾐｸﾛﾝ以下のﾒﾝﾌﾞﾗﾝﾌｨﾙﾀｰを用いたｲﾝﾗｲﾝﾌｨﾙﾀｰを通して投与すること。 重要な基本的注意：感染症、出血傾向の発現または増悪に十分注意すること。 重大な副作用：ｱﾅﾌｨﾗｷｼｰ様症状 その他の副作用：狭心症、色素沈着、低酸素症、総蛋白減少、ｱﾙﾌﾞﾐﾝ減少、出血性膀胱炎 その他の注意：使用成績調査において、重篤な間質性肺炎等の肺障害の発現率は、休薬期間が承認用法の 3 週間以上の症例では 0.27%（5 例/1,862 例）であったが、3 週間より短かった症例では 1.41%（12 例/852 例）であった。
ｼﾞｱｾﾞﾊﾟﾑ（注射剤）（ﾎﾘｿﾞﾝ）	用法･用量に関連する使用上の注意： ・痙攣の抑制のために本剤を投与する時、特に追加投与を繰り返す際には、呼吸器･循環器系の抑制に注意すること。 ・有機ﾘﾝ中毒、ｶｰﾊﾞﾒｰﾄ中毒に本剤を投与する際は、特に下記事項に注意すること。 (1)必ず呼吸状態の把握及び気道確保を行うこと。 (2)本剤は直接的な解毒作用を有さないため、ｱﾄﾛﾋﾟﾝ及びﾌﾟﾗﾘﾄﾞｷｼﾑを投与した上で本剤を投与すること。 併用注意：ｼﾌﾟﾛﾌﾛｷｻｼﾝ〔臨床症状･措置方法：眠気、注意力･集中力･反射運動能力等の低下が増強することあり。 機序･危険因子：本剤のｸﾘｱﾗﾝｽがｼﾌﾟﾛﾌﾛｷｻｼﾝとの併用により低下。〕 ﾏﾚｲﾝ酸ﾌﾙﾎﾞｷｻﾐﾝ：〔臨床症状･措置方法：眠気、注意力･集中力･反射運動能力等の低下が増強することあり。 機序･危険因子：本剤の代謝が阻害されることにより本剤のｸﾘｱﾗﾝｽが低下。〕
塩酸ﾀﾑｽﾛｼﾝ（ﾊﾙﾅｰﾙ）	慎重投与：重篤な腎機能障害〔血漿中濃度が上昇するおそれあり。〕
ｼｸﾛｽﾎﾟﾘﾝ（ｻﾝﾃﾞｨﾐｭﾝ cap･注、ﾈｵｰﾗﾙ内用液･cap）	禁忌：ﾋﾟﾀﾊﾞｽﾀﾁﾝ投与中 併用禁忌：ﾋﾟﾀﾊﾞｽﾀﾁﾝ〔臨床症状･措置方法：ﾋﾟﾀﾊﾞｽﾀﾁﾝの血中濃度が上昇し、副作用の発現頻度が増加するおそれあり。また、横紋筋融解症等の重篤な副作用が発現するおそれあり。 機序･危険因子：本剤により、ﾋﾟﾀﾊﾞｽﾀﾁﾝの血漿中の濃度が上昇（Cmax6.6 倍、AUC4.6 倍）。〕 併用注意：ｷﾇﾌﾟﾘｽﾁﾝ･ﾀﾞﾙﾎﾌﾟﾘｽﾁﾝ 適用上の注意（注射剤のみ）：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ製の輸液ｾｯﾄの使用はできるだけ避けること。使用する場合には、三方活栓や延長ﾁｭｰﾌﾞ等のｺﾈｸﾀｰ部の監視を十分に行い、ひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。〔本剤はﾎﾟﾘｵｷｼｴﾁﾚﾝﾋﾏｼ油及びｴﾀﾉｰﾙを含有しているため、ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ製の三方活栓や延長ﾁｭｰﾌﾞ等を使用した場合、通常の 100 倍希釈で、1 日目よりそのｺﾈｸﾀｰ部にひび割れが生じるおそれがある。これにより液漏れ等が発生し、必要な投与量が確保されない可能性がある。なお、濃度が高いほどひび割れは発生しやすく、また過度な締め付け及び増し締め等は、ひび割れの発生を助長する要因となる。〕 その他の注意：ﾗｯﾄで、精細管障害を示す組織像（40mg/kg、経口投与）、精子運動能の低下（20mg/kg、経口投与）、精子数減少、精子運動能及び妊孕性の低下（1mg/kg、皮下注）が認められたとの報告あり。

ﾃｶﾞﾌｰﾙ・ｷﾞﾒﾗｼﾙ・ｵﾃﾗｼﾙｶﾘｳﾑ（ﾃｨｰｴｽﾜﾝ cap）	警告：他のﾌｯ化ﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ系抗悪性腫瘍剤との併用療法（ﾎﾘﾅｰﾄ・ﾃｶﾞﾌｰﾙ・ｳﾗｼﾙ療法等）により、重篤な血液障害等の副作用が発現するおそれがあるので、併用を行わないこと。 禁忌：他のﾌｯ化ﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ系抗悪性腫瘍剤（これらの薬剤との併用療法を含む）投与中。 併用禁忌：ﾎﾘﾅｰﾄ・ﾃｶﾞﾌｰﾙ・ｳﾗｼﾙ療法、ﾚﾎﾞﾎﾘﾅｰﾄ・ﾌﾙｵﾛｳﾗｼﾙ療法 高齢者への投与：一般に高齢者では生理機能が低下している場合が多いので、患者の状態を観察しながら慎重に投与すること。
ﾄﾞｾﾀｷｾﾙ水和物（ﾀｷｿﾃｰﾙ注）	その他の注意：国内での非小細胞肺癌に対する 35mg/m^2 の週 1 回投与法（1 日 1 回 35mg/m^2、1、8、15 日目投与。4 週間毎に繰り返し）による第Ⅱ相臨床試験において、間質性肺炎が 48 例中 6 例に認められた。（承認外用法・用量）
塩酸ｾﾌｪﾋﾟﾑ（ﾏｷｼﾋﾟｰﾑ）	重大な副作用：中毒性表皮壊死症（Lyell 症候群）、精神神経症状〔意識障害、昏睡、痙攣、振戦、ﾐｵｸﾛｰﾇｽ等。特に腎機能障害患者で減量を行わなかった場合にあらわれやすい。〕、ｱﾅﾌｨﾗｷｼｰ様症状 その他の副作用：便秘、めまい、しびれ、悪寒、味覚異常 過量投与：意識障害、痙攣等の精神神経症状を起こすことがある。特に腎機能障害患者ではこのような症状があらわれやすい。なお、本剤は血液透析により体内から除去されるが、腹膜透析は有効ではない。
硫酸ｲﾝｼﾞﾅﾋﾞﾙｴﾀﾉｰﾙ付加物（ｸﾘｷｼﾊﾞﾝ cap）	禁忌：酒石酸ｴﾙｺﾞﾀﾐﾝ・無水ｶﾌｪｲﾝ及びﾒｼﾙ酸ｼﾞﾋﾄﾞﾛｴﾙｺﾞﾀﾐﾝ投与中、臭化水素酸ｴﾚﾄﾘﾌﾟﾀﾝ及びｱｾﾞﾙﾆｼﾞﾋﾟﾝ投与中 用法・用量に関する注意：ｼﾞﾀﾞﾉｼﾝ（cap 剤を除く）と併用する場合には、2hr 以上の間隔をあけて空腹時（食事の 1hr 以上前又は食後 2hr 以降）に投与すること。 慎重投与：軽症から中等症（Child-Pugh 診断）の肝機能不全患者には減量（1 回 600mg を 1 日 3 回）を考慮すること。 相互作用：肝代謝酵素ﾁﾄｸﾛｰﾑ P450・3A4（CYP3A4）の阻害作用を有する。 併用禁忌：酒石酸ｴﾙｺﾞﾀﾐﾝ・無水ｶﾌｪｲﾝ、ﾒｼﾙ酸ｼﾞﾋﾄﾞﾛｴﾙｺﾞﾀﾐﾝ 臭化水素酸ｴﾚﾄﾘﾌﾟﾀﾝ、ｱｾﾞﾙﾆｼﾞﾋﾟﾝ 〔臨床症状・措置方法：これらの薬剤の代謝が阻害され血中濃度が上昇するおそれあり。 機序・危険因子：本剤の CYP3A4 阻害作用により、これらの薬剤のｸﾘｱﾗﾝｽが減少する。〕 併用注意：ｼﾞﾀﾞﾉｼﾝ（cap 剤を除く）〔臨床症状・措置方法：併用する場合には、2hr 以上の間隔をあけて空腹時（食事の 1hr 以上前又は食後 2hr 以降）に投与。〕 ｹﾄｺﾅｿﾞｰﾙ〔臨床症状・措置方法：本剤とｹﾄｺﾅｿﾞｰﾙ 2 剤併用の場合には、本剤の減量（600mg、8hr 毎）を考慮すること。〕 ﾘﾌｧﾌﾞﾁﾝ〔臨床症状・措置方法：ｲﾝｼﾞﾅﾋﾞﾙ（800mg、8hr 毎）とﾘﾌｧﾌﾞﾁﾝ 300mg1 日 1 回又は 150mg1 日 1 回との併用投与について、異なる 2 つの臨床試験において評価した。これらの試験では、ｲﾝｼﾞﾅﾋﾞﾙの AUC の減少（ｲﾝｼﾞﾅﾋﾞﾙ 800mg、8hr 毎の単剤投与に比べ、それぞれ 34%及び 33%）及びﾘﾌｧﾌﾞﾁﾝの AUC の増加（ﾘﾌｧﾌﾞﾁﾝ 300mg、1 日 1 回単剤投与に比べ、それぞれ 173%及び 55%）が認められた。〕 HIVﾌﾟﾛﾃｱｰｾﾞ阻害剤〔臨床症状・措置方法：本剤とｲﾄﾗｺﾅｿﾞｰﾙ 2 剤併用の場合には本剤の減量（600mg、8hr 毎）を考慮すること。〕 ｴﾌｧﾋﾞﾚﾝﾂ〔本剤（800mg、8hr 毎）をｴﾌｧﾋﾞﾚﾝﾂ（200mg1 日 1 回）と併用した場合、酵素誘導の結果として、ｲﾝｼﾞﾅﾋﾞﾙの AUC と Cmax は、それぞれ約 31%と 16%まで減少した。〕 ｾｲﾖｳｵﾄﾄｷﾞﾘｿｳ含有食品〔臨床症状・措置方法：本剤の血中濃度が低下し、抗ｳｲﾙｽ作用の欠如及び本剤又は他の HIVﾌﾟﾛﾃｱｰｾﾞ阻害剤の耐性化が起こるおそれあり。〕 ｶﾙｼｳﾑ拮抗剤〔臨床症状・措置方法：ｶﾙｼｳﾑ拮抗剤の血中濃度が上昇し、治療効果及び副作用を増加又は延長させることあり。 機序・危険因子：ｶﾙｼｳﾑ拮抗剤は本剤で阻害される CYP3A4 によって代謝される。〕 重大な副作用：白血球減少、脳梗塞、一過性脳虚血発作 その他の副作用：腎機能障害（BUN 上昇、血清ｸﾚｱﾁﾆﾝ上昇等）、末梢神経障害（四肢の疼痛・しびれ等）、血管炎

ｴﾌｧﾋﾞﾚﾝﾂ（ｽﾄｯｸﾘﾝ cap）	禁忌：酒石酸ｴﾙｺﾞﾀﾐﾝ・無水ｶﾌｪｲﾝ及びﾒｼﾙ酸ｼﾞﾋﾄﾞﾛｴﾙｺﾞﾀﾐﾝ投与中 慎重投与：B 型、C 型肝炎感染の既往のある患者あるいはその疑いのある患者〔肝機能障害が発現・増悪するおそれがある〕。 併用禁忌：酒石酸ｴﾙｺﾞﾀﾐﾝ・無水ｶﾌｪｲﾝ、ﾒｼﾙ酸ｼﾞﾋﾄﾞﾛｴﾙｺﾞﾀﾐﾝ 併用注意：ﾘﾌｧﾝﾋﾟｼﾝ類〔臨床症状・措置方法：非感染のﾎﾞﾗﾝﾃｨｱに対する臨床試験において、本剤はﾘﾌｧﾌﾞﾁﾝの Cmax 及び AUC をそれぞれ 32%及び 38%低下させた。ﾘﾌｧﾌﾞﾁﾝは本剤の薬物動態に対して、意味ある影響を及ぼさなかった。〕 ｾｲﾖｳｵﾄｷﾞﾘｿｳ含有食品〔臨床症状・措置方法：本剤の血中濃度が低下し、抗ｳｲﾙｽ作用の欠如及び本剤または他の非ﾇｸﾚｵｼﾄﾞ系逆転写酵素阻害剤の耐性化が起こるおそれがある。〕 ｱﾝﾌﾟﾚﾅﾋﾞﾙ〔臨床症状・措置方法：HIV 感染患者に対して、ｱﾝﾌﾟﾚﾅﾋﾞﾙ（1,200mg/12 時間）を本剤（600mg/日）と併用した場合、ｱﾝﾌﾟﾚﾅﾋﾞﾙの Cmax（33%）、AUC（24%）及び Cmin（43%）の減少がみられた。ｱﾝﾌﾟﾚﾅﾋﾞﾙ濃度低下についての臨床上の意義は確立されていないが、本剤及びｱﾝﾌﾟﾚﾅﾋﾞﾙを含む投与法を選択時に、相互作用の影響を考慮に入れること。 機序・危険因子：本剤の CYP3A4 誘導作用により、ｱﾝﾌﾟﾚﾅﾋﾞﾙの代謝が促進される。〕 重大な副作用：肝不全 その他の副作用：女性化乳房、貧血（赤血球減少、ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ低下等）
乾燥弱毒生水痘ﾜｸﾁﾝ	用法・用量に関連する接種上の注意：接種対象者…水痘に感受性のある成人、特に医療関係者、医学生、水痘ｳｲﾙｽに対する免疫能が低下した高齢者、成人女性
乾燥弱毒生麻しんﾜｸﾁﾝ	用法・用量に関連する接種上の注意：接種対象者…標準として生後 12 月から 15 月の間に接種すること。生後 15 月を過ぎてしまった場合には、できるだけ早期に行うこと。
ﾊﾟﾓ酸ﾋﾟﾗﾝﾃﾙ（ｺﾝﾊﾞﾝﾄﾘﾝ錠）	禁忌：ﾋﾟﾍﾟﾗｼﾞﾝ系駆虫薬投与中 併用注意：ﾋﾟﾍﾟﾗｼﾞﾝ系駆虫薬〔臨床症状・措置方法：両剤の駆虫作用が減弱するおそれあり。 機序・危険因子：両剤の駆虫作用が拮抗したとの報告あり。〕 その他の副作用：そう痒、蕁麻疹、冷汗、多汗

＜別紙１＞

１.新規常備医薬品

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
エクストラニール UV フラッシュ	液	1.5L	2,162.0	バクスター	腹膜透析用剤 ★イコデキストリン（高分子多糖類）配合 →ブドウ糖と異なり腹膜からの吸収が少ない →長時間（就寝中）貯留可能 →除水効率が優れている 【発売：2003.6.16】
オキシコンチン	錠	5mg 10mg **※保留中** **（20mg）** **（40mg）**	154.0 288.4 **(640.1)** **(1,011.5)**	塩野義	Oxycodone HCl 持続性癌疼痛治療剤（麻薬） ★中等度の疼痛から使用可能 ★徐放性だが血中濃度の立ち上がりが速い →速やかな効果 ★腎排泄の代謝物に活性なし →腎機能低下患者に対しても蓄積による影響が少ない【発売：2003.7.7】 **※麻薬で管理が困難であるため、頻用が想定される 5mg 錠, 10mg 錠はオーダを開始します。** **20mg 錠、40mg 錠の採用の可否については市場の動向確認のため保留中です。**
カレトラ・ソフト	Cap	LPV：133.3mg RTV：33.3mg	262.9	アボット	Lopinavir(LPV)／Ritonavir(RTV) 抗ウイルス剤（抗 HIV） ★LPV と RTV の合剤 ★プロテアーゼ阻害作用 ★耐性を獲得しにくい【発売：2000.12.25】
カルブロック	錠	16mg	90.0	三共	Azelnidipine 高血圧症治療剤 ★長時間作用型Ｃａ拮抗作用 →1 日 1 回投与で 24 時間作用 ★心拍数に影響を与えない 【発売：2003.5.20】
クモロール PF	点眼	2%/5mL	529.8 (5mL)	日本点眼	Cromoglicate Na アレルギー性結膜炎治療剤 ★防腐剤を含まない **☆後発品のため 1 年間インタール点眼液と評価。その後どちらか削除予定** 【発売：2003.9.24】
クラリチン	錠	10mg	155.6	塩野義	Loratadine 抗アレルギー剤 ★持続性選択 H1 受容体拮抗作用 ★慢性蕁麻疹に対しザジテンより優越性あり ★眠気がプラセボと同程度 【発売：2002.9.2】
ケテック	錠	300mg	249.2	三共	Telithromycin ケトライド系抗菌剤 ★呼吸器、副鼻腔炎、歯性感染症 ★ペニシリン、マクロライド耐性肺炎球菌にも抗菌活性を示す【発売：2003.12.15】
スオード	錠	100mg	150.2	明治	Prulifloxacin ニューキノロン系抗菌剤 ★グラム陰性菌(特に緑膿菌)に対する殺菌力が大 【発売：2002.12.6】

ｿﾀｺｰﾙ	錠	40mg	170.5	ﾌﾞﾘｽﾄﾙ	Sotalol HCl 不整脈治療剤 ★β遮断作用と Ca ﾁｬﾈﾙ遮断作用を併せ持つ ★難治性不整脈に使用 【発売：1999.1.12】
ﾈｵﾊﾞﾙｷﾞﾝ HD	散	98.6g /100g	16.7 (10g)	ｶｲｹﾞﾝ	Barium sulfate X 線造影剤（消化管造影） ★ﾊﾞﾘｳﾑが高濃度 →二重造影での粘膜面の描出が優れる （高ｺﾝﾄﾗｽﾄ） ★消化器集団検診学会で正式に推奨 **☆ﾊﾞﾘﾄｯﾌﾟ P と切り替え予定** 【発売：2000.8.10】
ﾉﾎﾞﾘﾝ N ﾌﾚｯｸｽﾍﾟﾝ	注	300U /3mL/本	2,462.0	ﾉﾎﾞﾉﾙﾃﾞｨｽｸ ﾌｧｰﾏ	ヒトインスリン製剤 ★ｶｰﾄﾘｯｼﾞが注入器にｾｯﾄされたﾌﾟﾚﾌｨﾙﾄﾞ製剤 →ｶｰﾄﾘｯｼﾞ交換不要 →単位調整が簡便 →視力障害患者にも比較的安全に使用可能 **☆ﾍﾟﾝﾌｨﾙ 10R、50R は切り替え予定** 【発売：2003.7.4】
ﾉﾎﾞﾘﾝ 10R ﾌﾚｯｸｽﾍﾟﾝ			2,462.0		
ﾉﾎﾞﾘﾝ 30R ﾌﾚｯｸｽﾍﾟﾝ			2,462.0		
ﾉﾎﾞﾘﾝ 50R ﾌﾚｯｸｽﾍﾟﾝ			2,462.0		
献血ﾉﾝｽﾛﾝ	注	1,500U /V	96,872.0	日本製薬	Human Antithrombin Ⅲ 乾燥濃縮人ｱﾝﾁﾄﾛﾝﾋﾞﾝⅢ製剤 ★変性 ATⅢをほとんど含まない ★1,500U/日投与時は低薬価 ※ｱﾝｽﾛﾋﾞﾝ P(500)×3→111,180 ﾉﾝｽﾛﾝ(1,500)×1　→96,872 【発売：2001.10.10】
ﾊﾟｽﾞｸﾛｽ	注	500mg /100mL /袋	2,112.0	三菱 ｳｪﾙﾌｧｰﾏ	Pazufloxacin mesilate 注射用ﾆｭｰｷﾉﾛﾝ系抗菌製剤 ★他剤耐性菌にも有効 ★組織移行性が高い　【発売：2002.9.2】
ﾋﾟﾄﾞｷｻｰﾙ	錠	10mg	6.4	中外	Pyridoxal phosphate 活性型ﾋﾞﾀﾐﾝ B_6 製剤 ★散剤と比較し服用が簡便 【発売：1963.11.15】
ﾋｰﾛﾝ V0.6	注	13.8mg /0.6mL	13,732.8	ﾌｧｲｻﾞｰ	Hyaluronate Na 眼科手術用補助剤 ★高粘弾性→前房内に優れた滞留 ★浅前房眼を有する難症例の手術等に有用 【発売：2003.2.13】
ﾌｫｽﾌﾞﾛｯｸ	錠	250mg	35.6	麒麟	Sevelamer HCl 高リン血症治療剤（慢性腎不全用） ★非吸収性のﾘﾝ結合性ﾎﾟﾘﾏｰ ★Ca, Al を含有しない →血清 Ca が上昇しない 【発売：2003.6.26】
ﾌﾟﾛｷﾚｰﾄ PF	点眼	2%/5mL	1,262.5 (5mL)	日本点眼	Carteolol HCl 緑内障・高眼圧症治療剤（β遮断） ★防腐剤を含まない **☆後発品のため 1 年間 2％ﾐｹﾗﾝ点眼液と評価。** **その後どちらか削除予定** 【発売：2003.9.24】

ﾌﾟﾛｼﾞﾌ	注	200mg /2.5mL/V 400mg /5mL/V	1,1439.0 2,1783.0	ﾌｧｲｻﾞｰ	Fosfluconazole 抗真菌剤 ★ﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙのﾌﾟﾛﾄﾞﾗｯｸﾞ →液量減少→静注も可能 ★ﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｰｽﾞ →3 日で血中濃度が定常に到達 **☆ｼﾞﾌﾙｶﾝ注(200) と切り替え予定** 【発売: 2004.1.15】
ﾌﾟﾛﾅｰｾﾞ MS	散	20,000U /0.5g	151.0	科研	Pronase 胃内粘液溶解除去剤 ★蛋白分解酵素 ★胃内視鏡検査時の微小病変に対する診断能を向上 【発売: 1995.6.12】
ﾍﾟｶﾞｼｽ	注	90μg/V 180μg/V	15,634.0 30,587.0	中外	Peginterferon-α-2a ﾍﾟｸﾞｲﾝﾀｰﾌｪﾛﾝ-α-2a 製剤 ★慢性 C 型肝炎のｳｲﾙｽ血症改善 ★ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙを IFN に結合 →血中濃度の持続時間延長 →180μg週 1 回投与で IFN600 万 U 週 3 回投与に匹敵 【発売: 2003.12.12】
ﾍﾌﾟﾀﾊﾞｯｸｽⅡ	注	0.5mL/V	2,818.0	万有	沈降 B 型肝炎ワクチン（酵母由来） ｳｲﾙｽﾜｸﾁﾝ類 ★B 型肝炎、ｳｲﾙｽ母子感染の予防 ★γ-HB ﾜｸﾁﾝ（販売中止）の代替 【発売: 1988.6.20】
ﾏｸﾞﾈｽｺｰﾌﾟ ｼﾘﾝｼﾞ	注	15mL /ｼﾘﾝｼﾞ	10,794.0	田辺	Meglumine gadoterate MRI 用造影剤 ★ﾏｸﾛ環構造 →Gd ｲｵﾝのｷﾚｰﾄ安定性が高い ★他剤と比較し低薬価 ※ｵﾑﾆｽｷｬﾝｼﾘﾝｼﾞ→14,059.0 ﾏｸﾞﾈﾋﾞｽﾄｼﾘﾝｼﾞ →14,068.0 **☆ﾌｪﾘﾃﾞｯｸｽと切り替え予定** 【発売: 2001.4.20】
ﾕｰｾﾞﾙ	錠	25mg	2,503.3	大鵬	Folinate Ca（LV） 還元型葉酸製剤 ★結腸・直腸癌に対するﾃｶﾞﾌｰﾙ・ｳﾗｼﾙの抗腫瘍効果の増強 ★5-FU/LV 療法と同等の延命効果→切り替えることで QOL 改善 【発売: 2003.9.19】
ﾘﾊﾞﾛ	錠	2mg	175.2	興和	Pitavastatin Ca 高脂血症治療剤 ★HMG-CoA 還元酵素阻害作用 ★強力な LDL 低下作用 ★CYP の代謝をほとんどうけない →相互作用が少ない 【発売: 2003.9.12】
ﾘﾝﾍﾞﾀ PF	点眼	0.1%/5mL	161.5 (5mL)	日本点眼	Betamethasone Na Phosphate 眼・耳鼻科用合成副腎皮質ﾎﾙﾓﾝ剤 ★防腐剤を含まない **☆後発品のため 1 年間ﾘﾝﾃﾞﾛﾝ点眼液と評価。その後どちらか削除予定** 【発売: 2003.9.24】

2．剤形･規格追加医薬品　（合計 6 品目）

商品名	剤形	規　格	薬　価	会社名	成　分　・　薬　効
ｲﾐｸﾞﾗﾝ点鼻	点鼻	20mg/本	1,171.0	ｸﾞﾗｸｿ･ｽﾐｽｸﾗｲﾝ	Sumatriptan 片頭痛治療剤 ★5-$HT_{1B/1D}$受容体作動 ★鼻腔内投与→速効性 ★悪心･嘔吐を伴う患者にも使用可 【発売: 2003.6.9】
ﾃﾞｽﾓﾌﾟﾚｼﾝ ｽﾌﾟﾚｰ 10 (鼻腔)	外用	500μg /5mL/本	7,719.5	協和発酵	Desmopressin acetate 脳下垂体ﾎﾙﾓﾝ製剤 ★夜尿症治療剤 ★既有のﾃﾞｽﾓﾌﾟﾚｼﾝｽﾌﾟﾚｰには本適用がない 【発売: 2003.6.24】
ﾈｵｰﾗﾙ	Cap	10mg	183.0	ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽ	Ciclosporin 免疫抑制剤 ★低用量調節時に使用　【発売: 2000.5.12】
ﾈｵｰﾗﾙ 内用液	液	100mg/mL	1,371.1 (1mL)	ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽ	Ciclosporin 免疫抑制剤 ★低用量調節時に使用 **☆ｻﾝﾃﾞｨﾐｭﾝ内用液と切り替え予定** 【発売: 2000.5.12】
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾌ	顆粒	0.2mg/包	285.2 (1 包)	藤沢	Tacrolimus hydrate 免疫抑制剤 ★低用量調節時に使用　【発売: 2001.7.24】
ﾍﾟﾙｼﾞﾋﾟﾝ	注	25mg/A	2,377.0	山之内	Nicardipine HCl 高血圧性緊急症治療剤 ★50mg 使用時 2A ですむ ★10mg を 5A 使用時より低薬価 ※25mg×2→ 4,754.0 10mg×5→ 5,325.0 【発売: 1999.7.5】

3．切り替え医薬品　（合計 6 品目）

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効	切り替え薬
ｴｽﾎﾟｰ ｼﾘﾝｼﾞ	注	6,000U /ｼﾘﾝｼﾞ	11,625.0	麒麟	Epoetin α（遺伝子組換え） 腎性貧血治療剤 ★薬剤調整時間が短縮 ★異物混入が低減 （ｱﾝﾌﾟﾙ→ｼﾘﾝｼﾞへの変更） 【発売：2003.4.7】	ｴｽﾎﾟｰ 6,000U/V
ｺﾚﾊﾞｲﾝﾐﾆ	粒	83%	69.7 (1g)	三菱 ｳｪﾙﾌｧｰﾏ	Colestimide 高脂血症治療剤 ★服用感を改善（粒剤） →ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽの向上を図る （顆粒→粒剤への変更） 【発売：2002.10.8】	ｺﾚﾊﾞｲﾝ 顆粒 70%
ﾄﾛﾝﾋﾞﾝ液 ﾓﾁﾀﾞ	液	10,000U /ｿﾌﾄﾎﾞﾄﾙ	1805.7	持田	Thrombin 止血剤 ★誤用防止のｿﾌﾄﾎﾞﾄﾙ製剤 ★使用しやすい形状 （ﾊﾞｲｱﾙ→ｿﾌﾄﾎﾞﾄﾙへの変更） 【発売：2003.7.1】	ﾄﾛﾝﾋﾞﾝ 局所用液 (5,000U/V)
ﾍﾞﾀﾌｪﾛﾝ 皮下注	注	960 万 U /V	11,683.0	日本 ｼｴｰﾘﾝｸﾞ	Interferon β-1b（遺伝子組換え） ｲﾝﾀｰﾌｪﾛﾝ製剤（多発性硬化症治療） ★自己注射の準備をより簡略化 （自己注射ｾｯﾄ用への変更） 【発売：2003.12.8】	ﾍﾞﾀﾌｪﾛﾝ
ﾍﾞﾀｱｼｽﾄ	器具	―	―		ﾍﾞﾀﾌｪﾛﾝ皮下注のための注入器具	
ﾎﾟﾝﾀｰﾙ	Cap	250mg	10.6	三共	Mefenamic acid 解熱鎮痛剤 ★服用が細粒と比較し簡便 （細粒→Cap への変更） 【発売：1966.7.15】	ﾎﾟﾝﾀｰﾙ 細粒

4．削除医薬品　（合計 71 品目　＜本表：17 品目＞＋＜別紙２：54 品目＞ ）

商　品　名	剤　形	規　格	削　　除　　理　　由
ｱｸﾛﾏｲｼﾝ	軟膏	25g	販売元変更により、継続的な医薬品情報の提供が見込めなくなったため ※販売元変更：日本ﾜｲｽﾚﾀﾞﾘｰ → 科薬
ｴｽﾎﾟｰ	注	6,000U/V	ｴｽﾎﾟｰｼﾘﾝｼﾞ（6,000U/ｼﾘﾝｼﾞ）と切り替え・削除
ｺﾚﾊﾞｲﾝ顆粒	顆粒	70%	ｺﾚﾊﾞｲﾝﾐﾆ（83%）と切り替え・削除
ｻﾝﾃﾞｨﾐｭﾝ内用液	液	5g/50mL/瓶	ﾈｵｰﾗﾙ内用液と切り替え・削除
ｼﾞﾌﾙｶﾝ	注	200mg/100mL/V	ﾌﾟﾛｼﾞﾌと切り替え・削除
ﾄﾘﾌﾟﾀﾉｰﾙ	注	50mg/5mL/V	販　売　中　止
ﾄﾛﾝﾋﾞﾝ局所用液	液	5,000U/V	ﾄﾛﾝﾋﾞﾝ液ﾓﾁﾀﾞ（10,000U/ｿﾌﾄﾎﾞﾄﾙ）と切り替え・削除
ﾊｲｱﾐﾝ T	液	10%1,000mL/瓶	販　売　中　止
ﾊﾞﾘﾄｯﾌﾟ P	細粒	100g	ﾈｵﾊﾞﾙｷﾞﾝ HD と切り替え・削除
ﾌｪﾘﾃﾞｯｸｽ	注	56mg/5mL/A	ﾏｸﾞﾈｽｺｰﾌﾟｼﾘﾝｼﾞと切り替え・削除
ﾍﾞﾀﾌｪﾛﾝ	注	960 万 U/V	ﾍﾞﾀﾌｪﾛﾝ皮下注と切り替え・削除
ﾍﾟﾆﾛﾝ（CMV）	注	2.5g/V	販　売　中　止
ﾍﾟﾝﾌｨﾙ 10R	注	300U/3mL/V	ﾉﾎﾞﾘﾝ 10R ﾌﾚｯｸｽﾍﾟﾝ(300U/3mL/本)と切り替え・削除
ﾍﾟﾝﾌｨﾙ 50R	注	300U/3mL/V	ﾉﾎﾞﾘﾝ 50R ﾌﾚｯｸｽﾍﾟﾝ(300U/3mL/本)と切り替え・削除
ﾎﾟﾗﾗﾐﾝ復効錠	錠	6mg	販　売　中　止
ﾎﾟﾝﾀｰﾙ	細粒	―	ﾎﾟﾝﾀｰﾙ Cap と切り替え・削除
Metha 文	散	―	組成のﾒｻﾌｨﾘﾝ末が分包製品以外では経時的に分解 →院内製剤として作ることが困難になったため

＜別紙２＞

常備薬削除一覧表

２００４．２．１６（５４品目）

HF頁	コード	薬　品　名	剤　形	規　　格	薬　　効	代　替　薬　　［★同成分，　☆投与経路の違う同成分］
2	ﾋｸｼ61	ビクシリンＳ	注	500mg/V	ペニシリン系抗生物質	ビクシリン注（250mg/V，1g/V，2g/V）
6	ﾊﾛｽ61	ハロスポア	注	0.5g/V	セフェム系抗生物質	★パンスポリン注（１g/V）
13	ｼｽﾛ02	ジスロマック小児用	Ｃａｐ	100mg	マクロライド系抗生物質	★ジスロマック細粒小児用（100mg/g）
14	ｸﾗﾘ04	クラリス	ＤＳ	100mg/g	マクロライド系抗生物質	★クラリシッドＤＳ（100mg/g）
15	ﾘｶﾏ01	リカマイシン	錠	100mg	マクロライド系抗生物質	クラリシッド錠（200mg），ルリッド錠（150mg），ジスロマック錠（250mg）
16	ｲｾﾊ61	イセパシン	注	200mg/2mL/A	アミノグリコシド系抗生物質	ゲンタシン注（10mg/1mL/A，60mg/1.5mL/A）
18	ﾈﾁﾘ61	ネチリン	注	100mg/2mL/A	アミノグリコシド系抗生物質	ゲンタシン注（10mg/1mL/A，60mg/1.5mL/A）
48	ﾌﾚｵ61	ブレオ	注	5mg/A	抗悪性腫瘍剤＜抗生物質＞	ブレオ注（30mg/A）
48	ﾌﾚｵ62	ブレオ	注	15mg/A	抗悪性腫瘍剤＜抗生物質＞	ブレオ注（30mg/A）
50	ｽﾏﾝ62	スマンクス	注	6mg/V	抗悪性腫瘍剤＜抗生物質＞	代替薬なし。最終入庫日付00/10/13
50	ｽﾏﾝ64	スマンクス懸濁用液	注	6mL/V	－	代替薬なし。最終入庫日付00/10/14
59	ﾍﾌｼ02	ベプシドＳ	Ｃａｐ	50mg	抗悪性腫瘍剤	★ベプシドＳＣａｐ（25mg）
72	ﾊﾝｶ01	パンカル	散	100mg/g	ビタミン剤＜その他＞	パントシン（錠100mg，散200mg/g）
72	ﾊﾝﾄ01	パントシン	錠	30mg	ビタミン剤＜その他＞	★パントシン（錠100mg，散200mg/g）
76	ｴﾑﾌ61	Ｍ．Ｖ．Ｉ	注	5mL/V	総合ビタミン剤	ネオラミンマルチＶ，ビタジェクト，ソービタ
76	ｵﾂｶ61	オーツカＭＶ	注	1,2号/組	総合ビタミン剤	ネオラミンマルチＶ，ビタジェクト，ソービタ
76	ﾋﾀｼ61	ビタシミン	注	100mg/1mL/A	ビタミンＣ剤	★ビタシミン注（500mg/2mL/A）
97	ｾｽﾗ01	ゼスラン	錠	3mg	抗ヒスタミン剤	タベジール錠（1mg），ヒベルナ錠（25mg），アゼプチン錠（1mg）
101	ｴﾑｴ61	ＭＳアンチゲン	注	40mg/A	抗アレルギー薬＜アレルゲンエキス＞	代替薬なし。最終入庫日付02/07/22
101	ﾋｽﾀ61	ヒスタグロビン	注		抗アレルギー剤＜ヒスタミン加人免疫グロブリン＞	代替薬なし。最終入庫日付02/07/25
101	ﾛﾒﾂ02	ロメット小児用	細粒	100mg/g	抗アレルギー剤	リザベン細粒（100mg/g）
109	ﾗｸﾂ01	ラクツロース	シロップ	600mg/mL	高アンモニア血症治療剤	★モニラックシロップ（650mg/mL）
114	ﾉｲﾁ01	ノイチーム	錠	30mg	酵素製剤	★ノイチーム顆粒（100mg/g），ダーゼン（腸溶錠5mg，顆粒１０mg/g）
122	ｻﾝﾃ02	サンディミュン	Ｃａｐ	25mg	免疫抑制剤	★ネオーラルＣａｐ（25mg）
132	ﾂｲﾝ01	ツインライン	液	400mL/セット	経腸栄養剤	エンテルード
142	ﾕﾆｶ62	ユニカリックＬ	注	2000mL/bag	高カロリー輸液	フルカリック１号，アミノトリパ１号（1700mL/bag）
142	ﾕﾆｶ64	ユニカリックＮ	注	2000mL/bag	高カロリー輸液	フルカリック２号，アミノトリパ２号（1800mL/bag）
173	ｼｵｿ61	シオゾール	注	10mg/1mL/A	抗リウマチ薬＜金剤＞	★シオゾール注（25mg/1mL/A）
179	ｲｿﾐ01	イソミタール	末	g	催眠鎮静剤＜バルビツール酸系＞	ラボナ錠（50mg）
211	ｺﾝﾄ06	コントール	錠	10mg	精神安定剤	★コントール錠（5mg）
247	ｷﾆｼ01	硫酸キニジン「ホエイ」	末	g	不整脈治療剤	シベノール錠（100mg），アミサリン錠（125mg），リスモダンＲ錠（150mg）
257	ｾﾚｸ01	セレクトール	錠	100mg	β－遮断薬	セロケン錠（20mg，40mg）、テノーミン錠（25mg，50mg），メインテート錠（5mg）
262	ﾐﾆﾌ02	ミニプレス	錠	1mg	α－遮断薬	★ミニプレス錠0.5mg
273	ﾘﾎﾊ02	リポバス	錠	20mg	高脂血症治療剤	★リポバス錠（5mg）
283	ﾃｵﾛ01	テオロング	錠	200mg	鎮咳・喘息治療剤	★テオドール錠（100mg，200mg），★ユニフィル錠（200mg，400mg）
283	ﾃｵﾛ02	テオロング	顆粒	500mg/g	鎮咳・喘息治療剤	★テオドールＤＳ（200mg/g）
290	ﾄｸﾚ01	トクレス	Ｃａｐ	30mg	中枢性鎮咳剤	アストミン錠（10mg），フスタゾール錠（10mg）
290	ﾌｽﾄ61	フストジル	注	50mg/2mL/A	鎮咳剤＜その他＞	アスベリン（錠10mg，散100mg/g，シロップ5mg/mL）
293	ﾒﾝﾄ01	ｌ－メントール	末	g	芳香・矯臭・矯味	－

＜別紙２＞

常備薬削除一覧表

２００４．２．１６（５４品目）

302	ｿﾌﾗ02	ゾフラン	シロップ	0.5mg/mL	制吐剤＜５－HT3受容体拮抗剤＞	★ゾフランザイディス錠（4mg），☆ゾフラン注（4mg/2mL/A）
306	ｱﾙﾀ03	アルタット	Ｃａｐ	75mg	潰瘍治療剤＜Ｈ２受容体拮抗薬＞	ガスターD錠（10mg，20mg），ザンタック錠（150mg），アシノンＣａｐ（150mg）
309	ｹﾌｱ01	ゲファニール	Ｃａｐ	50mg	潰瘍治療剤＜その他＞	セルベックスＣａｐ（50mg），アプレース錠（100mg），ケルナックＣａｐ（80mg），ムコスタ錠（100mg）
312	ﾜｺｽ01	ワゴスチグミン	散	5mg/g	消化管機能亢進剤	ベサコリン散（50mg/g），パントシン（錠100mg，散200mg/g）
348	ﾀｲｱ41	ダイアコート	軟膏	5g	外皮用副腎皮質ホルモン	★ジフラールクリーム（5g），デルモベート軟膏（5g）
355	ﾌｱﾙ41	ファルネゾン	ゲル	25g	外皮用薬＜その他＞	モビラート軟膏（50g）
359	ｱｽﾀ41	アスタット	クリーム	10g	白癬治療剤	マイコスポールクリーム（10g），ゼフナートクリーム（10g），ラミシールクリーム（10g）
367	ｼｴｽ41	ＧＳプラスターC「ユートク」	貼付	10枚/袋	パップ剤	ミルタックス（６枚/袋），セルタッチ（７枚/袋），アドフィード（６枚/袋）
372	ｳｴﾉ65	ヴェノグロブリンＩＨ（CMV）	注	2.5g/V	ヒト免疫グロブリン製剤	ポリグロビンＮ（ＣＭＶ）（2.5g/V）
―	―	エーテル	液	mL	製剤原料	―
―	―	局所用エレース	末	V	製剤原料	―
―	―	精製水（高温処理済）	液	mL	製剤原料	―
―	―	白糖	ｸﾞﾗﾆｭｰ	g	製剤原料	―
―	ﾊｸﾄ01	白糖	末	g	製剤原料	―
―	ﾌﾄｳ01	ブドウ糖	末	g	―	―

P.15

ケトライド系

テリスロマイシン　telithromycin

★ケテック　Ketek　三共

	コード	薬価
錠: 300mg	[ｹﾃﾂ 01]	249.2

【効】扁桃炎　咽頭炎　咽喉頭炎　急性気管支炎　慢性呼吸器疾患の二次感染　肺炎　副鼻腔炎　歯周組織炎　歯冠周囲炎　顎炎

【用】600mgを１日１回５日間　歯周組織炎、歯冠周囲炎及び顎炎の場合は１日１回３日間　肺炎の場合は１日１回最大７日間まで投与可能

【禁】本剤成分過敏症　シサプリド又はピモジド投与中

【重大な副作用】ショック　アナフィラキシー様症状　重症筋無力症の悪化

【備考】ﾍﾟﾆｼﾘﾝ、ﾏｸﾛﾗｲﾄﾞ耐性肺炎球菌にも抗菌活性を示す

P.21

ニューキノロン系

メシル酸パズフロキサシン　pazufloxacin mesilate

★パズクロス　Pazucross　三菱ｳｪﾙﾌｧｰﾏ

	コード	薬価
注: 500mg/100mL/袋	[ﾊｽｸ 61]	2,112.0

【用】１日1,000mgを２回に分け、30～1時間かけて点滴静注　原則14日以内　原則単独投与

【禁】本剤成分過敏症　妊娠又はその可能性のある婦人　小児等

【重大な副作用】ショック　アナフィラキシー様症状　中毒性表皮壊死症（Lyell 症候群）　皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）　急性腎不全　肝機能障害　黄疸　偽膜性大腸炎　無顆粒球症　血小板減少　間質性肺炎　PIE 症候群　横紋筋融解症　低血糖　アキレス腱炎　腱断裂　痙攣

【備考】他剤耐性菌にも有効

P.21

ニューキノロン系

プルリフロキサシン　prulifloxacin

★スオード　Sword　明治

	コード	薬価
錠: 100mg（活性本体として）	[ｽｵﾄ 01]	150.2

【用】１回200mgを１日２回　１回最大300mgまで　肺炎、慢性呼吸器疾患の二次感染には１回300mgを１日２回（原則として感受性を確認し、治療上必要最小限の期間の投与にとどめること）

【禁】本剤成分過敏症　妊娠又はその可能性のある婦人　小児等　フェンブフェン、フルルビプロフェンアキセチル、フルルビプロフェン投与中

【重大な副作用】横紋筋融解症

【備考】ｸﾞﾗﾑ陰性菌（特に緑膿菌）に対する殺菌力大

P.26

抗真菌剤

ホスフルコナゾール　fosfluconazole

★プロジフ　Prodif　ファイザー

	コード	薬価
200mg/2.5mL/V	[ﾌﾛｼ 61]	11,439.0
400mg/5mL/V	[ﾌﾛｼ 62]	21,783.0

【効】カンジダ属及びクリプトコッカス属による次の感染症：真菌血症、呼吸器真菌症、真菌腹膜炎、消化管真菌症、尿路真菌症、真菌髄膜炎

【用】［カンジダ症］50～100mg　［クリプトコッカス症］50～200mg　維持用量として１日１回静注（初日、２日目は維持用量の倍量投与）　重症又は難治性真菌感染症：維持用量 1 日 400mg まで（初日、2 日目は 800mg まで）増量可

【禁】トリアゾラム、シサプリド、テルフェナジン投与中　本剤成分又はフルコナゾール過敏症　妊娠又はその可能性のある婦人

【重大な副作用】ショック　皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) 中毒性表皮壊死症(Lyell 症候群）血液障害　急性腎不全　肝障害　意識障害　痙攣　高Ｋ血症　心室頻拍　ＱＴ延長　不整脈　間質性肺炎　偽膜性大腸炎

【備考】ﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙのﾌﾟﾛﾄﾞﾗｯｸﾞ　血中濃度は 3 日で定常状態

P.30

抗HIV剤

ロピナビル・リトナビル　lopinavir・ritonavir

★カレトラ・ソフト　Kaletra・Soft　アボット

	コード	薬価
Cap（劇）：LPV 133.3mg、RTV 33.3mg	[ｶﾚﾄ 02]	262.9

【効】HIV 感染症

【用】1 回 3cap を 1 日 2 回食後に内服

【禁】本剤成分過敏症　酢酸ﾌﾚｶｲﾆﾄﾞ、塩酸ﾌﾟﾛﾊﾟﾌｪﾉﾝ、ﾋﾟﾓｼﾞﾄﾞ、ｱｽﾃﾐｿﾞｰﾙ、ﾃﾙﾌｪﾅｼﾞﾝ、ｼｻﾌﾟﾘﾄﾞ、酒石酸ｴﾙｺﾞﾀﾐﾝ、ﾒｼﾙ酸ｼﾞﾋﾄﾞﾛｴﾙｺﾞﾀﾐﾝ、ﾐﾀﾞｿﾞﾗﾑ、ﾄﾘｱｿﾞﾗﾑ投与中

【重大な副作用】高血糖　糖尿病　膵炎　出血傾向　肝機能障害　肝炎

【備考】HIV ﾌﾟﾛﾃｱｰｾﾞ阻害剤

P.64

その他の抗腫瘍剤

ホリナートカルシウム　calcium folinate

★ユーゼル　Uzel　大鵬

	コード	薬価
錠：25mg	[ﾕｾﾙ 01]	2,503.3

【効】＜ホリナート・テガフール・ウラシル療法＞結腸・

直腸癌に対するテガフール・ウラシルの抗腫瘍効果の増強

【用】1日75mgを分3（約8時間毎）テガフール・ウラシル配合剤と同時に内服　テガフール・ウラシル配合剤：1日テガフール300～600mg（300mg/m2）を分3食事の前後1時間を避ける　28日間連日投与後7日間休薬（1クール）

【警】緊急時に十分に措置できる医療施設及び癌化学療法に十分な経験を有する医師のもとで、適応患者の選択を慎重に行い実施すること　激しい腹痛、下痢等の症状が現れた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと　脱水症状が現れた場合には補液等の適切な処置を行うこと　劇症肝炎等の重篤な肝障害、骨髄抑制が起こることがあるので、定期的（少なくとも1クールに1回以上、特に投与開始から2クールは各クール開始前及び当該クール中に1回以上）に臨床検査（肝機能検査、血液検査等）を行うこと　食欲不振を伴う倦怠感等の発現に十分注意し、黄疸（眼球黄染）が現れた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと　テガフール・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤との併用を行わないこと

【禁】重篤な骨髄抑制　下痢（水様便）　重篤な感染症　本剤成分又はテガフール・ウラシル配合剤成分過敏症　テガフール・ギメラシル・オテラシルカリウム投与中及び投与中止後7日以内　妊娠又はその可能性のある婦人

【重大な副作用】血液障害　重篤な肝障害　肝硬変　脱水症状　重篤な腸炎　重篤な精神神経障害　狭心症　心筋梗塞　不整脈　急性腎不全　ネフローゼ症候群　嗅覚脱失　間質性肺炎　急性膵炎　重篤な口内炎　消化管潰瘍　消化管出血　皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)　中毒性表皮壊死症(Lyell症候群)　ショック　アナフィラキシー様症状

【備考】5-FU/LV療法と同等の延命効果

P.68

ビタミンB

リン酸ピリドキサール　pyridoxal phosphate

★ピドキサール　Pydoxal

	コード	中外薬価
錠：10mg	[ﾋﾄｷ01]	6.4

【効】次の疾患のうち,ビタミンB6の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合：口角炎,口唇炎,舌炎,口内炎,急・慢性湿疹,脂漏性湿疹,接触皮膚炎,アトピー皮膚炎,尋常性ざ瘡,末梢神経炎,放射線障害(宿酔)　ビタミンB6の需要が増大し食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患,妊産婦,授乳婦等) ビタミンB6依存症(ビタミンB6反応性貧血等)

ビタミンB6欠乏症の予防及び治療(薬物投与によるものを含む　例えばイソニアジド)
【用】1日10～60mgを1～3回に分服
【備考】活性型VB6

P.79

下垂体ホルモン剤

酢酸デスモプレシン　desmopressin acetate

★デスモプレシン　Desmopressin　協和発酵

	コード	薬価
点鼻液 劇:250μg/2.5mL/V	[ﾃｽﾓ41]	9,369.6
スプレー2.5 劇:125μg/5mL/本	[ﾃｽﾓ42]	6,432.9
スプレー10 劇:500μg/5mL/本	[ﾃｽﾓ43]	7,719.5

【効】(点鼻･スプレー2.5) 中枢性尿崩症　(スプレー10) 尿浸透圧あるいは尿比重の低下に伴う夜尿症
【用】[点鼻･スプレー2.5] 1回5～10μg (2～4噴霧) ,小児2.5～5μg (1～2噴霧) ,1日1～2回鼻腔内投与　[スプレー10] 1日1回就寝前に10μg (1噴霧) 鼻腔内投与　効果不十分な場合:20μgに増量　1日最高20μgまで
【重大な副作用】脳浮腫･昏睡･けいれん等を伴う重篤な水中毒

P.98

抗アレルギー剤

ロラタジン　Loratadine

★クラリチン　Claritin　塩野義

	コード	薬価
錠:10mg	[ｸﾗﾘ05]	155.6

【効】アレルギー性鼻炎　蕁麻疹　皮膚疾患(湿疹･皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒
【用】1回10mgを1日1回食後
【禁】本剤成分過敏症
【重大な副作用】ショック　てんかん
【備考】持続性選択H1受容体拮抗作用　眠気がﾌﾟﾗｾﾎﾞと同程度

P.123

免疫抑制剤

シクロスポリン　cyclosporin

★ネオーラル　Neoral　ノバルティス

	コード	薬価
Cap 劇:10mg	[ﾈｵﾗ03]	183.0
Cap 劇:25mg	[ﾈｵﾗ02]	382.0
内用液 劇:5000mg/50mL/瓶	[ﾈｵﾗ04]	68,555.0

【効】サンディミュン参照
【用】サンディミュン参照(腎移植、骨髄移植、ベーチェット病で回数の記載が若干異なる。サンディミュン:1日1～2回、ネオーラル:1日2回)
【警】サンディミュン参照
【禁】サンディミュン参照
【原禁】サンディミュン参照

【重大な副作用】サンディミュン参照
【備考】サンディミュン参照　安定した薬物動態が得られるよう改良

P.123

免疫抑制剤

タクロリムス水和物　tacrolimus hydrate

★プログラフ　Prograf　　藤沢

	コード	薬価
Cap 劇:1mg	[ﾌﾛｸ 01]	1,060
顆粒 劇:0.2mg/包	[ﾌﾛｸ 03]	285.2
注 劇:5mg/1mL/A	[ﾌﾛｸ 61]	7,280

【効】(1)腎・肝・心・肺移植における拒絶反応の抑制 (2)骨髄移植における拒絶反応及び移植片対宿主病の抑制　(3)（内服のみ）全身性重症筋無力症（胸腺摘出後の治療において、ステロイド剤の投与が効果不十分、又は副作用により困難な場合

【用】〔内〕肝移植: 初期1回0.15mg/kg,1日2回,以後,徐々に減量,維持量1日量0.1mg/kg　骨髄移植: 移植1日前から1回0.06 mg/kg,1日2回,移植初期には1回0.06 mg/kg,1日2回,以後,徐々に減量。移植片対宿主病発現後に投与を開始する場合は,1回0.15mg/kg,1日2回　腎移植: 移植2日前から1回 0.15mg/kg,1日2回,術後初期には1回0.15mg/kg,1日2回,以後,徐々に減量,維持量1回0.06 mg/kg,1日2回　心移植: 初期1回0.03～0.15mg/kg,1日2回,拒絶反応発現後に投与開始の場合は1回0.075～0.15mg/kgを1日2回　肺移植: 1回0.05～0.15mg/kgを1日2回,以後,徐々に減量　全身性重症筋無力症: 3mgを1日1回夕食後　〔注〕肝移植: 1回 0.1mg/kg を 24 時間かけて点滴静注　骨髄移植: 移植1日前から1回0.03mg/kgを24時間かけて点滴静注。移植片対宿主病発現後に投与を開始する場合は,1回0.10mg/kgを24時間かけて点滴静注　腎移植: 1回0.10mg/kgを24時間かけて点滴静注　心・肺移植: 1回0.05mg/kgを24時間かけて点滴静注

【警】顆粒とCapの生物学的同等性は検証されていない。　臓器移植時の使用は免疫抑制療法及び移植患者の管理に精通している医師のもとで行う。

【禁】本剤成分過敏症　シクロスポリン　カリウム保持性利尿剤　妊娠又はその可能性のある婦人

【重大な副作用】ショック(注射)　急性腎不全　ネフローゼ症候群　心不全　不整脈　狭心症　心膜液貯留　心筋障害　中枢神経系障害　脳血管障害　血栓性微小血管障害　汎血球減少症　血小板減少性紫斑病　イレウス　皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群)　呼吸困難　感染症　リンパ腫等の悪性腫瘍

【備考】ﾏｸﾛﾗｲﾄﾞ構造　Ｔ細胞の活性化を選択的に阻害

P.135

高リン血症治療剤

塩酸セベラマー　sevelamer hydrochloride

★フォスブロック　Phosblock　麒麟

	コード	薬価
錠: 250mg	[ﾌｫｽ 01]	35.6

【効】透析中の慢性腎不全患者における高リン血症の改善

【用】1回1～2gを1日3回食直前　1日最高9gまで

【禁】本剤成分過敏症　腸管閉塞

【重大な副作用】胃腸障害

【備考】非吸収性のﾘﾝ結合性ﾎﾟﾘﾏｰ　Ca、Al を含有しない

P.151

止血剤

トロンビン　thrombin

★トロンビン液モチダ　Liquid thrombin mochida　持田

	コード	薬価
液: 10,000U/ｿﾌﾄﾎﾞﾄﾙ	[ﾄﾛﾝ 45]	1805.7

【効】通常の結紮によって止血困難な小血管,毛細血管及び実質臓器からの出血

【用】出血局所にそのまま噴霧もしくは灌注又は撒布上部消化管出血の場合200～400単位/mL溶液を服用(牛乳、リン酸緩衝液等で希釈)

【警】注射しない

【禁】本剤又は牛血液を原料とする製剤過敏症　凝血促進剤、抗プラスミン剤、アプロチニン製剤投与中

【重大な副作用】ショック　凝固異常　異常出血

P.159

血球減少予防・治療剤

エポエチンα（遺伝子組換え）

epoetin alfa(genetical recombination)

★エスポー　Espo　麒麟

	コード	薬価
注 劇 :750IU/A	[ｴｽﾎ 64]	1,723.0
皮下用ｼﾘﾝｼﾞ 劇 :6,000IU/ｼﾘﾝｼﾞ	[ｴｽﾎ 66]	11,625.0
皮下注 劇 :24,000IU/A	[ｴｽﾎ 63]	33,609.0

【効】〔注〕(1)透析施行中の腎性貧血　(2)未熟児貧血　〔皮下〕(1)腎性貧血　(2)貯血量が800 mL以上で1週間以上の貯血期間を予定する手術施行患者の自己血貯血

【用】〔注〕(1)投与初期1回3000 I.U.週3回緩徐に静注　維持量1回1500 I.U.週2～3回又は1回3000 I.U.週2回投与　最高1回3000 I.U.週3回　(2)1回200 I.U./kg週2回皮下注　〔皮下〕(1)投与初期1回6000 I.U.週1回皮下注　維持量1回6000～

12000 I.U.2 週に 1 回皮下注　小児には 1 回 100 I.U./kg 週 1 回皮下注　(2)待機的手術予定患者に対し、Hb 濃度が 13 g/dL 未満：初回採血 1 週間前から　Hb 濃度が 13～14 g/dL：初回採血後から 24,000 I.U.を最終採血まで週 1 回皮下注　＜初回採血予定日＞800 mL 貯血：手術 2 週間前　1200 mL 貯血：手術 3 週間前

【禁】本剤又は他のエリスロポエチン製剤過敏症

【重大な副作用】ショック　アナフィラキシー様症状　高血圧性脳症　脳出血　脳梗塞　心筋梗塞　肺梗塞　肝機能障害　黄疸

【備考】遺伝子組換え型ﾋﾄｴﾘｽﾛﾎﾟｴﾁﾝ製剤

P.171

酸性抗炎症剤　その他の酸性抗炎症剤

メフェナム酸　mefenamic acid

★ポンタール　Pontal　三共

	コード	薬価
Cap：250mg	[ﾎﾝﾀ 01]	10.6
シロップ：32.5mg/mL	[ﾎﾝﾀ 03]	6.6

【効】(1)手術後及び外傷後の炎症及び腫脹の緩解 (2)次の疾患の消炎,鎮痛,解熱：変形性関節症,腰痛症,症候性神経痛,頭痛（多剤無効時）,副鼻腔炎,月経痛,分娩後疼痛,歯痛　(3)急性上気道炎の解熱・鎮痛　シロップは(3)のみ

【用】(1)(2)初回 500 mg,その後 6 時間ごとに 250 mg (3)1 回 500 mg,小児 1 回 6.5 mg/kg を頓用　原則として 1 日 2 回まで,1 日最大 1,500 mg まで

【禁】消化性潰瘍　重篤な血液異常　重篤な肝障害　重篤な腎障害　重篤な心機能不全　本剤成分過敏症　アスピリン喘息又はその既往　重篤な高血圧症　過去に本剤により下痢を起こした患者　妊娠末期の婦人

【重大な副作用】ショック　溶血性貧血　顆粒球減少　骨髄形成不全　皮膚粘膜眼症候群　中毒性表皮壊死症　急性腎不全　ネフローゼ症候群　消化性潰瘍　大腸炎

P.188

解熱鎮痛薬　片頭痛治療剤

コハク酸スマトリプタン　sumatriptan succinate

★イミグラン　Imigran　GSK

	コード	薬価
錠 劇：50mg	[ｲﾐｸ 01]	1,052.9
点鼻 劇：20mg/本	[ｲﾐｸ 41]	1,171.0
注 劇：3mg/1mL/A	[ｲﾐｸ 61]	3,393.0

【効】片頭痛　［注のみ］群発頭痛

【用】『内』1回50mgを片頭痛の頭痛発現時に経口投与　効果不十分な場合：2 時間以上あけて追加投与

50mg の経口投与で効果不十分な場合：次回片頭痛発現時から100mg経口投与可能　１日総投与量：200mg 以内　　［点鼻］１回 20mg を頭痛発現時に鼻腔内投与　効果不十分な場合：2時間以上あけて追加投与　１日総投与量：40mg以内　　［注］頭痛発現時に1回３mg を皮下投与　1回3mg、1日6mgを超えないこと

【禁】本剤成分過敏症　心筋梗塞の既往歴　虚血性心疾患又はその症状・兆候　異型狭心症（冠動脈攣縮）　脳血管障害や一過性脳虚血性発作の既往　末梢血管障害　コントロールされていない高血圧症　重篤な肝機能障害　エルゴタミン　エルゴタミン誘導体含有製剤、他の 5-HT1B/1D 受容体作動薬投与中　MAO 阻害剤（投与中及び投与中止2 週間以内）

【重大な副作用】アナフィラキシーショック　アナフィラキシー様症状　虚血性心疾患様症状（不整脈、狭心症、心筋梗塞を含む）　てんかん様発作

【備考】5-HT1B/1D 受容体選択的作用薬　水溶性（点鼻）速効性

P.251

不整脈治療薬　III群

塩酸ソタロール　sotalol hydrochloride

★ソタコール　Sotacor　　ブリストル

	コード	薬価
錠：40mg	[ｿﾀｺ 01]	170.5

【効】生命に危険のある次の再発性不整脈で他の抗不整脈薬が無効か、又は使用できない場合：心室頻拍、心室細動

【用】１日 80mg から開始　効果が不十分な場合は１日 320mg まで漸増し、２回に分服

【警】Torsades de pointes を含む新たな不整脈の発現に十分注意すること　使用の際は添付文書を熟読すること

【禁】心原性ショック　重度のうっ血性心不全　重篤な腎障害　高度の洞性徐脈　高度の刺激伝導障害　気管支喘息　気管支痙攣のおそれ　ＱＴ延長症候群　重篤な本剤成分過敏症

【重大な副作用】心室細動　心室頻拍　Torsades de pointes　心不全　心拡大

【備考】β遮断作用と Ca ﾁｬﾈﾙ遮断作用を併せ持つ難治性不整脈に使用

P.253

カルシウム拮抗薬

アゼルニジピン　azelnidipine

★カルブロック　Calblock　　三共

	コード	薬価
錠：16mg	[ｶﾙﾌ 02]	90.0

【効】高血圧症

【用】8～16mgを1日1回朝食後服用　1回8mg以下から開始し適宜増減　1日最大16mgまで

【禁】妊娠又はその可能性のある婦人　本剤成分過敏症　アゾール系抗真菌剤、ＨＩＶプロテアーゼ阻害剤投与中

【備考】長時間作用型　心拍数に影響を与えない

P.254

カルシウム拮抗薬

塩酸ニカルジピン　nicardipine hydrochloride

★ペルジピン　Perdipine　山之内

	コード	薬価
LA Cap/40mg	[ヘルシ03]	41.9
散: 100mg/g	[ヘルシ02]	124.1
注 劇 :2mg/2mL/A	[ヘルシ61]	266.0
注 劇 :10mg/10mL/A	[ヘルシ62]	1,065.0
注 劇 :25mg/25mL/A	[ヘルシ63]	2,377.0

【効】〔内〕本態性高血圧症　〔注〕(1)手術時の異常高血圧の救急処置　(2)高血圧性緊急症　(3)急性心不全(慢性心不全の急性増悪を含む)

【用】〔散〕1回10～20 mgを1日3回　〔LACap〕1回20～40 mgを1日2回　〔注〕(1)2～10 μg/kg/分で開始し、血圧をモニターしながら点滴速度を調節急速に血圧を下げる必要がある場合には10～30μg/kg 静注 (2)0.5 μg/kg/分から開始、血圧をモニターしながら 0.5～6 μg/kg/分で点滴速度を調節 (3)1μg/kg/分で投与　0.5～2 μg/kg/分の範囲で点滴速度を調節

【禁】頭蓋内出血で止血未完成　脳卒中急性期で頭蓋内圧亢進　（内のみ）妊娠又はその可能性のある婦人　（以下、注のみ）本剤成分過敏症　急性心不全において高度な大動脈弁狭窄･僧帽弁狭窄、肥大型閉塞性心筋症、低血圧(収縮期血圧 90 mmHg 未満)、心原性ショック、急性心不全において発症直後で病態が安定していない重篤な急性心筋梗塞

【重大な副作用】血小板減少　肝機能障害　黄疸　（注のみ）麻痺性イレウス　低酸素血症　肺水腫　呼吸困難　（外国例）狭心痛

【備考】ｼﾞﾋﾄﾞﾛﾋﾟﾘｼﾞﾝ系（短）　LAは持効性

P.273

高脂血症治療剤
HMG－ＣｏＡ還元酵素阻害剤

ピタバスタチンカルシウム　pitavastatin calcium

★リバロ　Livalo　興和

	コード	薬価
錠: 2mg	[ﾘﾊﾛ01]	175.2

【効】高コレステロール血症　家族性高コレステロール血症

【用】1～2mg を１日１回夕食後　１日最大 4mg まで
【禁】本剤成分過敏症　重篤な肝障害又は胆道閉塞　シクロスポリン投与中　妊娠又はその可能性のある婦人
【原禁】腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる患者への本剤とフィブラート系薬剤の併用
【重大な副作用】横紋筋融解症　ミオパシー
【備考】CYP の代謝をほとんど受けないため相互作用が少ない

P.274

高脂血症治療剤　その他

コレスチミド　Colestimide

★コレバイン　Cholebine　三菱ウェルファーマ

	コード	薬価
錠：500mg	[ｺﾚﾊ 02]	42.2
ﾐﾆ：830mg/1g	[ｺﾚﾊ 03]	69.7

【効】高コレステロール血症　家族性高コレステロール血症
【用】１回 1.5 g,1 日 2 回朝夕食前に水と共に服用　朝夕食後投与可　最高用量は１日４g
【禁】胆道の完全閉塞　本剤成分過敏症
【備考】陰ｲｵﾝ交換樹脂　　ﾐﾆ：1.5g/1.81g/包

P.329

副腎皮質ホルモン

リン酸ベタメタゾンナトリウム
betamethasone sodium phosphate

★リンベタＰＦ　Rinbeta　日本点眼

	コード	薬価
点眼：0.1%5mL	[ﾘﾝﾍ 41]	161.5

【効】［眼科］外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法(眼瞼炎,結膜炎,角膜炎,強膜炎,上強膜炎,前眼部ブドウ膜炎,術後炎症)　［耳鼻科］外耳・中耳(耳管を含む)又は上気道の炎症性・アレルギー性疾患(外耳炎,中耳炎,アレルギー性鼻炎など),術後処置
【用】［眼科用］１日 3～4 回 1～2 滴ずつ点眼　［耳鼻科用］１日1～数回,点耳,点鼻,耳浴,ネブライザー又はタンポンで使用するか,又は注入
【禁】本剤成分過敏症
【原禁】角膜上皮剥離　角膜潰瘍　ウイルス性結膜・角膜疾患　結核性眼疾患　真菌性眼疾患　化膿性眼疾患　耳鼻の結核性又はウイルス性疾患
【重大な副作用】緑内障　角膜ヘルペス　角膜真菌症　緑膿菌感染症　穿孔　後のう白内障
【備考】防腐剤を含まない

P.330

緑内障治療剤

塩酸カルテオロール　carteolol hydrochloride

★ブロキレートＰＦ　Blokyleate PF　日本点眼

	コード	薬価
点眼：2%5mL	[ﾌﾛｷ 41]	1,262.5

【効】緑内障、高眼圧症
【用】1回1滴、1日2回点眼
【禁】コントロール不十分な心不全　洞性徐脈　房室ブロック(II･III 度)　心原性ショック　気管支喘息　気管支けいれん　重篤な慢性閉塞性肺疾患　本剤成分過敏症
【重大な副作用】喘息発作　失神
【備考】防腐剤を含まない

P.333

その他の点眼剤

クロモグリク酸ナトリウム　sodium cromoglicate

★クモロールＰＦ　Cumorol PF　日本点眼

	コード	薬価
点眼：2%5mL	[ｸﾓﾛ 41]	529.8

【効】春季カタル　アレルギー性結膜炎
【用】1回1～2滴、1日4回（朝､昼､夕､就寝前）点眼
【禁】本剤成分過敏症
【重大な副作用】アナフィラキシー様症状
【備考】防腐剤を含まない

P.336

眼科用内用・注射用剤

ヒアルロン酸ナトリウム　hyaluronate sodium

★ヒーロン　Healon　ファルマシア

	コード	薬価
注：4mg/0.4mL/筒		11632.5
V注：13.8mg/0.6mL/筒	[ﾋﾛﾝ 42]	13,732.8

【効】①白内障手術・眼内レンズ挿入術における手術補助　②全層角膜移植術における手術補助＜ヒーロンVは①のみ＞
【用】(1)白内障手術・眼内レンズ挿入術の連続施行：0.2～0.75mL（ヒーロンVは 0.3～0.6mL）前房内注入（眼内レンズのコーティングに約 0.1mL）　白内障手術又は眼内レンズ挿入術だけを施行する場合(a)白内障手術：0.1～0.4mL（ヒーロンVは 0.1～0.3mL）前房内注入　(b)眼内レンズ挿入術：眼内レンズ挿入前 0.1～0.5mL（ヒーロンVは 0.1～0.4mL）前房内注入（眼内レンズのコーティングに約 0.1mL）(2)全層角膜移植術：移植眼の角膜片を除去後,0.1～0.6mL 前房内注入し,移植片角膜を本剤上に浮遊させて縫合を行う（提供眼の移植片角膜のコーティングには約0.1 mL）
【原禁】本剤成分又は蛋白系薬剤過敏症　緑内障, 高眼圧（ヒーロンV のみ）
【備考】粘弾性物質（ﾋｰﾛﾝ V は高粘弾性）

P.360

トキソイド・ワクチン類

組換え沈降B型ワクチン（酵母由来）
recombinant adsorbed hepatitis B vaccine(yeast origin)

★ヘプタバックスーⅡ Heptavax-Ⅱ 万有

	コード	薬価
注 劇：0.5mL/V	[ヘフタ61]	2,818.0

【効】① B型肝炎の予防　② B 型肝炎ウイルス母子感染の予防　③ HBs、Hbe 抗原陽性血液の汚染事故後の B 型肝炎発症予防

【用】① 1 回 0.5mL を 4 週間隔で 2 回、更に 20～24 週を経過した後に1回0.5mLを皮下注又は筋注（10 歳未満：1 回 0.25mL を同様の投与間隔で皮下注）② 生後2～3 箇月に 0.25mL を 1 回皮下注、更に1回 0.25mL を初回注射の 1 箇月後及び 3 箇月後に皮下注　③ 事故発生後 7 日以内に 1 回 0.5mL を皮下注又は筋注、更に 1 箇月後及び 3～6 箇月後に 1 回 0.5mL を皮下注又は筋注（10 歳未満：1 回 0.25mL を同様の投与間隔で皮下注）抗 HBs ヒト免疫グロブリンと併用　①～③ 能動的HBs抗体が獲得されていない場合には追加注射

【禁】発熱　重篤な急性疾患　本剤成分によるアナフィラキシー　予防接種を行うことが不適当な状態

【重大な副作用】ショック　多発性硬化症　急性散在性脳脊髄炎　脊髄炎　視神経炎　ギランバレー症候群　末梢神経障害

血液製剤　その他の血液製剤

乾燥濃縮人アンチトロンビンIII
human anti-thrombinIII, concentrated

★献血ノンスロン Nonthron 日本製薬

	コード	薬価
注：1,500U/V	[ノンス61]	96,872.0

【効】(1)先天性アンチトロンビン III 欠乏に基づく血栓形成傾向　(2)アンチトロンビン III 低下を伴う汎発性血管内凝固症候群(DIC)

【用】(1)1 日 1,000～3,000 単位(又は 20～60 単位/kg)を緩徐に静注もしくは点滴静注　(2)アンチトロンビン III が正常の 70%以下の場合はヘパリンの持続点滴静注のもとに 1 日 1,500 単位(又は 30 単位/kg)を投与　ただし産科的　外科的 DIC などで緊急処置として使用する場合は1日1回40～60単位/kg

【禁】本剤成分に対しアナフィラキシー様ショック

【原禁】本剤成分過敏症

【重大な副作用】アナフィラキシー様ショック

【備考】変性ATIIIを殆ど含まない

インターフェロン類

ペグインターフェロンーα－2a
peginterferon alfa-2a(genetical recombination)

★ペガシス Pegasys　中外

	コード	薬価
注 劇:90μg/V	[ヘカシ 62]	15,634.0
注 劇:180μg/V	[ヘカシ 61]	30,587.0

【効】C型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善

【用】1回180μgを週1回皮下注

【警】投与により間質性肺炎、自殺企図が現れることがあるので、患者に対し副作用発現の可能性について十分説明　リバビリン製剤との併用療法については、日本人における有効性・安全性が確立していないため、併用しないこと

【禁】小柴胡湯投与中　自己免疫性肝炎　本剤成分又はIFN製剤過敏症　低出生体重児、新生児、乳児、3歳未満の幼児　ワクチン等生物学的製剤過敏症

【重大な副作用】間質性肺炎　肺浸潤　呼吸困難　うつ病　自殺念慮　自殺企図　汎血球減少　無顆粒球症　白血球減少　血小板減少　肝炎の増悪　肝機能障害　自己免疫現象　心筋症　心不全　狭心症　不整脈（心室性頻脈等）　心筋梗塞　心内膜炎　敗血症　脳出血　脳梗塞　肺塞栓症　意識障害　痙攣　てんかん発作　見当識障害　昏睡　せん妄　錯乱　幻覚　痴呆様症状（特に高齢者）　糖尿病　甲状腺機能異常　乾癬　急性腎不全　ネフローゼ症候群　消化管出血（下血、血便等）　消化性潰瘍　虚血性大腸炎　ショック　網膜症

【備考】180μg週1回投与でIFN600万U週3回投与に匹敵

P.383

インターフェロン類

インターフェロンベータ-1b（遺伝子組換え）

interferon beta-1b (genetical recombination)

★ベタフェロン Betaferon　日本シエーリング

	コード	薬価
皮下注 劇:960万U/V	[ヘタフ 61]	11,683.0

【効】多発性硬化症の再発予防及び進行抑制

【用】800万国際単位を皮下に隔日投与

【警】自殺企図、間質性肺炎があらわれることがあるので、精神神経症状や呼吸器症状が発現する可能性があることを患者等に十分説明し、不眠、不安、咳、呼吸困難等があらわれた場合には直ちに連絡するよう注意を与えること。注射部壊死があらわれることがあるので観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど、適切な処置を行うこと。

【禁】本剤又は他のインターフェロン製剤及びヒトアルブミン過敏症　妊娠又はその可能性のある婦人　重度のうつ病又は自殺念慮の既往　非代償性肝疾患　自己免疫性肝炎　治療により十分な管理がさ

れていないてんかん患者　小柴胡湯　ワクチン等生物学的製剤過敏症

【重大な副作用】うつ病（自殺企図）　間質性肺炎　注射部壊死　けいれん　錯乱　離人症　情緒不安定　筋緊張亢進　重度な過敏反応　高度な白血球減少（2000/mm3 未満）・血小板減少（50000/mm3 未満）　汎血球減少　重篤な肝障害　心筋症　甲状腺腫　甲状腺機能異常　敗血症

【備考】オーファンドラッグ

P.386

あへんアルカロイド系麻薬

塩酸オキシコドン　oxycodone hydrochloride

★オキシコンチン　OxyContin　塩野義

	コード	薬価
錠〔麻〕劇：5mg	[オキシ 02]	154.0
錠〔麻〕劇：10mg	[オキシ 03]	288.4

【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】1日10～80mgを2回に分服

【禁】重篤な呼吸抑制　重篤な慢性閉塞性肺疾患　気管支喘息発作中　慢性肺疾患に続発する心不全　痙攣状態　麻痺性イレウス　急性アルコール中毒　アヘンアルカロイド過敏症　出血性大腸炎

【原禁】細菌性下痢

【重大な副作用】ショック　依存性　呼吸抑制　錯乱　譫妄　無気肺　気管支痙攣　喉頭浮腫　麻痺性イレウス　中毒性巨大結腸

【備考】徐放性だが立ち上がりが早い　腎機能に影響少ない

P.406

X線造影剤（硫酸バリウム製剤）

硫酸バリウム　barium sulfate

★ネオバルギンHD　Neo Balgin HD　カイゲン

	コード	薬価
散：98.6g/100g	[ネオハ 01]	16.7(10g)

【効】消化管撮影

【禁】消化管穿孔又はその疑い　消化管の急性出血　強い全身衰弱

【重大な副作用】アナフィラキシー様症状

【備考】バリウムが高濃度

P.396

検査補助剤

プロナーゼ　pronase

★プロナーゼMS　Pronase MS　科研

	コード	薬価
散：20,000U/0.5g	[フロナ 01]	151.0

【効】胃内視鏡検査における胃内粘液の溶解除去

【用】検査15～30分前に、20,000Uを炭酸水素ナトリウ

ム 1g とともに約 50～80mL の水に溶かし内服
【禁】胃内出血　本剤成分過敏症
【重大な副作用】ショック　アナフィラキシー様症状
【備考】蛋白分解酵素

P.409

MRI 用造影剤

ガドテル酸メグルミン　meglumine gadoterate

		コード	薬価
★マグネスコープシリンジ	Magnescope syringe 注: 15mL/ｼﾘﾝｼﾞ	[ﾏｸﾈ 68]	田辺 10,794.0

【効】磁気共鳴コンピューター断層撮影における脳・脊髄造影、躯幹部・四肢造影
【用】0.2mL/kg 静注　腎臓を対象とする場合は 0.1mL/kg (0.2mL/kg まで増量可)
【警】髄空内には投与しない
【原禁】一般状態の極度に悪い患者　気管支喘息　重篤な肝障害　重篤な腎障害
【備考】Gd ｲｵﾝのｷﾚｰﾄ安定性が高い

〔インスリン類〕

分類		一般名	商品名（会社名）	規格	作用発現時間(時間)	最大作用時間(時間)	作用持続時間(時間)	適用	薬価
超速効型		ｲﾝｽﾘﾝﾘｽﾌﾟﾛ	★ヒューマログ注ｶｰﾄ Humalog (ﾘﾘｰ)	水溶性劇 300U/3mL	0.25以内	0.5-1.5	3.5-5	皮下	1801
		ｲﾝｽﾘﾝｱｽﾊﾟﾙﾄ	★ノボラピッド注 ﾌﾚｯｸｽﾍﾟﾝ NovoRapid FlexPen (ﾉﾎﾞ)	水溶性劇 300U/3mL	0.16-0.3	1-3	3-5	皮下	2517
速効型	中性溶解製剤	ﾋﾄｲﾝｽﾘﾝ	★ヒューマリンR注 Humulin R U-100 (ﾘﾘｰ) ★ヒューマカートR注 Humacart R (ペン型注射器用) (ﾘﾘｰ)	水溶性劇 1000U/10mL 300U/3mL	0.5-1	1-3	5-7	皮下筋静注 持続静脈内注 皮下	4140 1731
		生合成ﾋﾄ中性ｲﾝｽﾘﾝ	★ノボリンR注100 Novolin R 100 (ﾉﾎﾞ) ★ペンフィルR注 Penfill R (ペン型注射器用) (ﾉﾎﾞ)	水溶性劇 1000U/10mL 300U/3mL	0.5	1-3	8	皮下筋静注 持続静脈内注 皮下	4140 1731
中間型	NPH製剤	ﾋﾄｲｿﾌｪﾝｲﾝｽﾘﾝ水性懸濁注	★ヒューマリンN注 Humulin N U-100 (ﾘﾘｰ) ★ヒューマカートN注 Humacart N (ペン型注射器用) (ﾘﾘｰ)	水懸注劇 1000U/10mL 300U/3mL	1-3	8-10	18-24	皮下	4140 1731
		生合成ﾋﾄｲｿﾌｪﾝｲﾝｽﾘﾝ水性懸濁注	★ノボリンN注 ﾌﾚｯｸｽﾍﾟﾝ Novolin N FlexPen (ﾉﾎﾞ) ★ペンフィルN注 Penfill N (ペン型注射器用) (ﾉﾎﾞ)	水懸注劇 300U/3mL	1.5	4-12	24	皮下	2462 1731

分類		一般名	商品名（会社名）	規格	作用発現時間(時間)	最大作用時間(時間)	作用持続時間(時間)	適用	薬価
中間型	NPH混合製剤	生合成ヒト二相性イソフェンインスリン水性懸濁注	★ノボリン10R注 フレックスペン Novolin 10R FlexPen (ノボ) ヒトインスリン:ヒトイソフェンインスリン=1:9	水懸注劇 300U/3mL	0.5	2-8	24	皮下	2462
			★ノボリン30R注 100 Novolin 30R 100 (ノボ) ★ノボリン30R注 フレックスペン Novolin 30R FlexPen (ノボ) ★ペンフィル30R注 Penfill 30R (ペン型注射器用) (ノボ) ヒトインスリン:ヒトイソフェンインスリン=3:7	水懸注劇 1000U/10mL 300U/3mL 300U/3mL	0.5	2-8	24	皮下	4140 2462 1731
			★ノボリン50R注 フレックスペン Novolin 50R FlexPen (ノボ) ヒトインスリン:ヒトイソフェンインスリン=5:5	水懸注劇 300U/3mL					2462
		ヒト二相性イソフェンインスリン水性懸濁注	★ヒューマリン3/7注 Humulin 3/7 U-100 (リリー) ★ヒューマカート3/7注Humacart3/7 (ペン型注射器用) (リリー) ヒトインスリン:ヒトイソフェンインスリン=3:7	水懸注劇 1000U/10mL 300U/3mL	0.5-1	2-12	18-24	皮下	4140 1731

続【禁】低血糖症状　本剤成分過敏症
【重大な副作用】低血糖（脱力感　倦怠感　高度の空腹感　冷汗　顔面蒼白　動悸　振戦　頭痛　めまい　嘔気　知覚異常　不安　興奮　神経過敏　集中力低下　精神障害　痙攣　意識障害等）　徐々に進行する低血糖では精神・意識障害が主症状　アナフィラキシーショック（呼吸困難　血圧低下　頻脈　発汗　全身の発疹等）　血管神経性浮腫

〔 腹膜透析液（連続携行式腹膜透析液）〕

商　品　名	陽イオン　mEq／L			陰イオン　mEq／L		ｲｺﾃﾞｷｽﾄﾘﾝ g／dL	総浸透圧 mOsm／L	浸透圧比	薬価
	Na^{+}	Ca^{++}	Mg^{++}	CL^{-}	$Lactate^{-}$				
★エクストラニール Extraneal ﾊﾞｸｽﾀｰ UVﾌﾗｯｼｭ 液：1.5L	132	3.5	0.5	96	40	7.5	282	0.9～1.1	2162

【効】慢性腎不全患者における腹膜透析

【用】1日1回のみ（1日3～5回交換のうち、1回のみ本剤使用。本剤以外の交換にはブドウ糖含有腹膜透析液を用いること。）
1.5～ 2L を腹腔内に注入し，8～12時間滞液し効果期待後に排液除去する
注入および排液速度： 300mL/分以下

【禁】トウモロコシデンプン由来物質過敏症　糖原病　横隔膜欠損　腹部に挫滅傷または熱傷　高度の腹膜癒着　乳酸代謝障害の疑い
出血性素因（尿毒症以外）

【重大な副作用】急激な脱水による循環血液量減少，低血圧，ショック